

事業所名

児童発達支援センターまな星

支援プログラム

作成日

2026年

3月

27日

法人理念	幼児期から青年期まで、発達障害児・者への切れ目のない支援を行う。				
支援方針	就学前の児童を対象に、同年齢による小集団での活動を通して対人社会性や認知機能の向上を目指し、集団社会への参加や適応を促す。				
営業時間	9時	0分	17時	0分	送迎実施の有無 あり なし (※岡山駅西口から当センターまでの往復)
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶、上靴の脱ぎ履き、トイレ、手洗い等、生活の中の様々なことを大人と一緒に経験することから、必要なことに自分で取り組む時のポイントをこどもや保護者の方に伝える。 場面や季節に合わせて衣類を調節したり、自分の物の管理や身の周りを整理整頓することに意識が向けられるようにする。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 感覚遊びや模倣、身体を意識して動かしたり道具の操作をしたりする協調運動等の経験を積む。 大人や友だちなど相手に合わせたり、相手と一緒に身体を動かしたり道具を適切に操作したりする調整力を養う。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 集団場面における基本的なルールがあることを知り、適応的な行動をする経験を積む。 様々な活動に興味を持って取り組み、他児とのやりとりをする楽しさに気付くよう促す。 場面を理解し、適切な行動が何かを考え、実際に適切な行動がとれるよう促す。 			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 他児に関心を持ち、簡単なコミュニケーションができるよう促すことから自発的なコミュニケーションへ繋げていく。 相手に注目して話を聞く力、相手の様子を見る力をつけていく。 言葉による指示の理解や言葉の意図理解、相手の気持ちに気が付いたり理解したりする機会をつくる。 自分の気持ちを適切に表現できるよう促す。 相手に合わせたり交渉したりする機会をつくる。 			
	人間関係 社会性	<p>(2歳)要求や拒否の出し方を知る。指差しや簡単な言葉を使って意思表示をする。物を介してのやりとりを経験する。様々な遊びを通して身近な大人と思いを共有する。順番・交代の経験をする。</p> <p>(3歳)集団の中の基本的なルールを守りながら活動する経験を積む。友だちと簡単なやりとりの経験を積む。簡単な言葉で大人に意思表示をする。</p> <p>(4歳)集団の中でできたことや分からないことを大人に伝える。自分から友だちに声をかけたり応じたりする経験を積む。自分の思いを相手に伝えたり、相手の思いを聞いたりする経験を積む。役割や順番を相談して決める経験をする。</p> <p>(5歳)集団の中でできたことや分からないことを指導者に伝える。集団の中で自分の気持ちを指導者に伝える。役割や順番、チームや遊び等、相談して決める経験をする。</p>			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 困りごとや心配なことに対して、相談を受けたり情報共有したりする。 家族が特性を踏まえた支援方法を考えたり学んだりする時間や機会をもつようにする。 	移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 就学に向けての準備やガイダンスを段階的に実施し、こどもにとってより適切な教育形態を選択できるようにする。 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて医療機関等と連携しながら情報や目標の共有をし、適切な支援が受けられるようにする。 年1回を目安に発達検査を行い、発達状況を確認し療育課題の参考にする。 	職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 職員研修の実施 外部研修への参加 	
主な行事等	季節を感じられる活動・課題の提供。				